



International Council of Nurses  
The Global Voice of Nursing

#NURSESFORPEACE



## ICN #NursesForPeace

# 1年後—ICNはウクライナの平和を改めて訴え、 世界中の看護師が連帯する

(2023年2月23日発表)

ウクライナへの侵攻とその後の苦い1年の節目に、国際看護師協会（ICN）は、停戦と恒久的な平和のための交渉の必要性をあらためて訴えました。



ICN会長のパメラ・シプリアーノ氏は次のように述べています。

「世界中の看護師は平和のための力であり、看護師はこの恐ろしい侵略行為と罪のない人々への攻撃を非難し、連帯し続けます。看護師は平和の象徴でもあり、私たちは健康と平和が密接に関係しており、どちらが欠けてもならないということを知っています。」

「ICNは、#NursesforPeaceキャンペーンや人道基金を通じて、紛争の影響を受けている人々を支援するためにできる限りのことをしています。NNAやその他のパートナーからの惜しみない寄付のおかげで、ウクライナとその周辺国の看護師の手元に援助物資を届けることができます。」

ウクライナ看護協会のTetyana Chernyshenko会長は、ICNに次のようなメッセージを送りました。

「ウクライナ看護師協会は、国際看護師協会をはじめ、世界中の看護師の皆様からウクライナの看護師に対して計り知れない援助と支援に心から感謝しています。私たち一人ひとりにとって、仲間が助けられると感じることは非常に重要なことです。」

「私たちの国の領土にロシア軍が全面的に侵攻した結果、ウクライナでは恐ろしく残忍な戦争が起きています。多くの女性が子供を守るためにヨーロッパ諸国やカナダ、アメリカへと旅立たざるを得なくなり、何千人もの男性とともに、多くの女性が軍隊に加わりました。」

「軍事戦線と並行して、医師、看護師、救急隊員や保健医療指導員のための人民医療戦線（People's Medical Front）が設置されました。」



「戦争が始まって以来、私は自分の街であるキーウを一日も離れたことはありません。戦争は続いており、ほぼ毎日、ウクライナのあらゆる場所でミサイルや飛行機と隣り合わせで、軍事活動とは関係のない民間人、家、病院、学校、大学、インフラ施設、工場、幼稚園を破壊しています。」

「侵略者から解放された地域では、何千人もの市民が殺されました。ウクライナ人が経験したこと、拷問や虐待を想像することできません。それについて書くことも、話すことさえもできません。」

「看護師、医師、救急隊員の仕事は、私たちの心の中で特別な位置を占めています。看護師は、前線や病院など、必要とされる場所で常に医療を提供しています。また、多くの衛生兵が負傷し、治療を受けた後、祖国解放のためにすぐに前線に復帰しています。」

「この困難な闘いにおいて、多大な支援と援助を提供してくれる全ての人々と国々に感謝します。私たちは、ウクライナ人が民主主義世界全体のために戦っていることは理解していますが、この残酷な闘いを、他国の助けなしに想像することは困難であり、ほとんど不可能です。」

「国際看護師協会によるウクライナの看護師への支援は、今日の歴史の中で特別な位置を占めています。その重要性を過大評価することはできません。ウクライナの看護師たちは、支援を感じています。私たちは一人ではありません。私たちの仲間である多くの国の看護師は、私たちとともにいます。これは非常に貴重なことで、ウクライナの看護師たちが勝利に向かう闘いに新たな力を与えてくれるのです。」

## ウクライナの看護師からの勇気と悲劇の物語

また、Chernyshenko氏は、ICNから支援を受けた一般の看護師たちからの以下メッセージを伝えました。

- **Taisia Lutsenko氏**：「Polonsk鉄道変電所での爆撃の際、自分の建物が被害を受け、受け取ったお金で屋根と窓を修復することができました。国際看護師協会の支援にとっても感謝しています。すべての人に平和と幸福を。」
- **Svitlana Yatsenko氏**：「私の息子は、祖国を守るためにKherson近郊で亡くなり、学校に通わせなければならぬ子ども2人を孤児として残していきました。戦時中、これは決して小さな金額ではなかったので、国際看護師協会の支援は非常にタイムリーなものでした。神があなたの組織のすべての善行において、助けてくださいますように。感謝いたします。」
- **Marina Ostash氏**：「国際看護師協会が、母国ウクライナの看護師のために、このような困難な時期に配慮してくださることは、とてもありがたいことです。私は腫瘍性の疾患を患っており、その闘病のために多くのお金を費やしています。自分の命を数年延ばしたであろう支援に、心から感謝します。すべての人に末永い平和と健康を。」
- **Olga Bashuk氏**：「私は2022年8月16日にウクライナ東部、Soledarの街を守って亡くなった戦死者であるBashuk Oleksandr Yuriyovychの母です。私たちの家族に経済的な支援を提供した国際看護

師協会に、深く感謝します。全ての人に平和な空、調和、幸せな未来を。」

- **Vita Atamanyuk氏**：「私の夫は最前線にいます。国際看護師協会の支援に感謝します。このような困難な時期にあって、これは切望されていたお金です。彼らの援助で、必要な機器や医薬品を購入することができました。」
- **Tetyana Kaskova氏**：「私の息子は2022年6月に重傷を負い、Lvivとオランダで治療を受け、多くの手術を受け、現在はKhmelnyskyi軍事病院に入院しています。配分されたお金は治療費に使いました。支援に感謝します。私たちはみな、美しい地球という惑星の人間です。私たちの国にとって恐ろしい瞬間に、私たちの窮状が国境を越えて遠くまで届いたことは、とても良いことだと思います。」
- **Alina Sherstyuk氏**：私はZaporizhzhiaの第二プライマリヘルスケアセンターで、第二外来診療所の看護師として働いています。2022年2月24日まで、私はZaporizhzhia州のTokmakに住んでいました。私の家はミサイルで破壊されました。現在は国内避難民として登録され、5歳の息子と一緒にZaporizhzhiaの街の賃貸アパートに住んでいます。提供された経済支援に大変感謝しています。これは私と息子にとって大きな支えです。重ねて感謝します。ウクライナに栄光あれ。」
- **Nataliya Harkava氏**：「私はZaporizhzhia地域の抗腫瘍センターの上級医療看護師です。私個人として、また私の家族を代表して、支援に心から感謝いたします。私たちの世界が、このような困難な時期にも隣にいるあなたのような繊細な方によって支えられていることは、とても良いことです。あなたの支援は、私たち家族にとってかけがえのないものであり、間違いなく具体的な支援となります。善行は気づかれないことはなく、助けを待っている人たちのために道標のように輝きます。私たち全員にとって困難な時期に支援を受けることは、物質的な価値だけでなく、どんな困難も一緒に乗り越えられるという希望になります。あなたの優しさと寛容さが100倍になって返ってきますように。あなたの人生の道のちに、健康と繁栄、そしてさらなる温もりがもたらされますように。ウクライナに栄光あれ！」
- **Svitlana Leonchuk氏**：「私はZaporizhzhia第五プライマリヘルスケアセンターの看護師です。ウクライナとウクライナ国民全体にとって困難な時期に、提供された経済的援助に心から感謝します。私には大家族で、老いた母がいます。私と家族にとって大きな支えです。今は誰もが大変な状態ですが、勝利への希望を持ち続けています。勝利は私たちのものになる、私たちは皆それを信じています。皆の健康と平和を願っています。」
- **Svitlana Totska氏**：「私は産科病院の看護師で、占領地に住み、活発な敵対行為に巻き込まれた多くの医療従事者の一人です。私はウクライナ統治下にある地域に移り住むことを余儀なくされ、故郷を離れました。経済的援助により、新しい居住地に落ち着くことができました。また、看護コミュニティによる道徳的支援への意識は、戦争による心の傷を克服する助けになりました。現在は医療機関で働き、専門的な分野で活発にコミュニケーションをとり、勝利を信じて生きています！」

- **Olga Veryovkina氏**：「私はKharkiv地方のDergachi出身ですが、2022年4月からPoltavaに住み、麻酔科の看護師として働いています。私たちの町への絶え間ない砲撃のため、子どもと夫と共に家を出ることを余儀なくされました。2週間、4歳と13歳の娘と一緒に、常に地下室に隠れることを余儀なくされました。その後、ボランティアの方々のおかげで、Poltavaに移ることができました。必要なものはほとんどない状態で到着し、アパートを借り、幸運にもすぐに仕事を見つけました。

「人生で最も困難で恐ろしい時期に、私は新しいチームから素晴らしい道徳的支援を受け、図らずも、国際看護師協会から実質的な経済的援助を受けました。」

「その時、私たち家族はこれまで以上に支援を必要としていました。家賃や、先天性代謝異常症でいくつかの血液パラメーターの定期的なモニタリングが必要な一番下の娘の検査費用、新しい土地での日々の生活費等を支払う必要がありました。そのため、国際看護師協会からの非常にタイムリーな経済的援助に心から感謝しています。」

「また、自分の専門分野で働く機会を与えてくれたこと、病院の管理職が私と私の家族全員に対して温かく心のもった態度と配慮をしてくれたこと、そして新しい同僚たちにも感謝しています。」

- **Lidia Danelia氏**：「重傷を負った息子の治療とリハビリにお金を使いました。彼はまだリハビリ中です。私は、2度の難しい腫瘍の手術の後、体重が大幅に減ったので、受け取ったお金で薬だけでなく冬服も購入しました。」
- **Marina Kravchenko氏**：「Ochakivの自宅が被災した際に、必要な経済的援助をいただいたことに感謝いたします。私はOchakivで救急医療アシスタントとして働き、勤務の度に市民の命を救っています。あなたの支援は非常に重要です。感謝します。」
- **Oleksiy Homych氏**：「私はVitovsk地区のShevchenkivoの村で救急医療に携わる救急隊員として働いています。テロリストが私と2人の子どもを家に残し、妻と私は村を離れ、Mykolaivの街に移ることを余儀なくされました。私たちは必要としていた経済的援助を受けることができ、困難な時期に家族を助けてくれました。私たちは一人ではないということ、あなたが私たちを助けてくれていることを知ることは非常に重要なことです。感謝いたします。ウクライナは勝利します。共に勝利へ。」
- **Olena Ponurenko氏**：「私は夫と共に救急医療センターで看護師として働いています。私たちはMykolaiv地方のSnigurivkaに住んでいましたが、被災した家を離れ、8歳の娘と共にMykolaivに移ることを余儀なくされました。私たちの経済的な問題を解決してくれた支援と経済的援助にとっても感謝しています。ウクライナに栄光あれ！」
- **Inna Hayduk氏**：「私は、救急医療・災害医療センターで看護師として働いています。Pervomaiskeにある家が砲撃の被害を受けたため、経済的援助とあなたの優しい心に深く感謝します。家を出て、別の場所で住居を探すことを余儀なくされました。感謝します。」
- **Inna Vladykina氏**：「私はMykolayiv第三病院で看護師として働いています。私たちは戦争と破壊

の夢を見ます。家は砲撃で被害を受け、息子と夫が怪我をしました。国際看護師協会のお陰で、多くの貧しい人たちや恵まれない人たちが必要な支援を受けています。他者を助けることを急ぎ、あなたは自分の体力、時間、健康を惜しみません。私たちにとって、人間性と慈愛の模範です。親愛なる同僚であるあなたの心遣いと優しさに敬意を表します。」

- Sofia Yanova氏：「私はDonetsk州のLymanという小さな町に住み、2022年2月24日に本格的な侵攻が始まったとき自宅にいました。4月の初めには、占領軍が街に近づいてきたので、私は家を出なければなりませんでした。私たちはすべてが過ぎ去るだろうと思い、夫は残ることになりました。祖母と祖父は敵の激しい砲火の中、避難していました。4月29日、携帯電話の電波塔がすべて破壊され、激しい砲撃のため、夫からの電話は途絶えました。5月5日、夫は奇跡的に街を脱出し、家族全員でPoltavaにたどり着き、私は現在、手術室の看護師として働いています。私たちの家が敵のミサイルで破壊されたことは後に知りました。」
- Tetyana Grigoryeva氏：「私はLuhansk州のKreminnaの街に住んでいました。2022年2月24日から3月31日の間、地下室で敵の砲火を浴びました。私の兄は、水を汲みに地下室から出たときに、敵の砲弾で亡くなりました。夫は街を離れたがらなかったのですが、耐えがたい状況となり、最終的に離れました。出発から15日後、街は敵の占領下におかれ、私たちのアパートは敵のロケット弾で焼失しました。私たちの生活は「前 (before) と後 (after)」に分けられます。現在、私はPoltavaに住み、眼科で病棟看護師として働いています。このような困難な時期に物質的な援助と支援を提供してくれた国際看護師協会に感謝します。支援をありがとうございました。」

## 悲惨な状況での生活

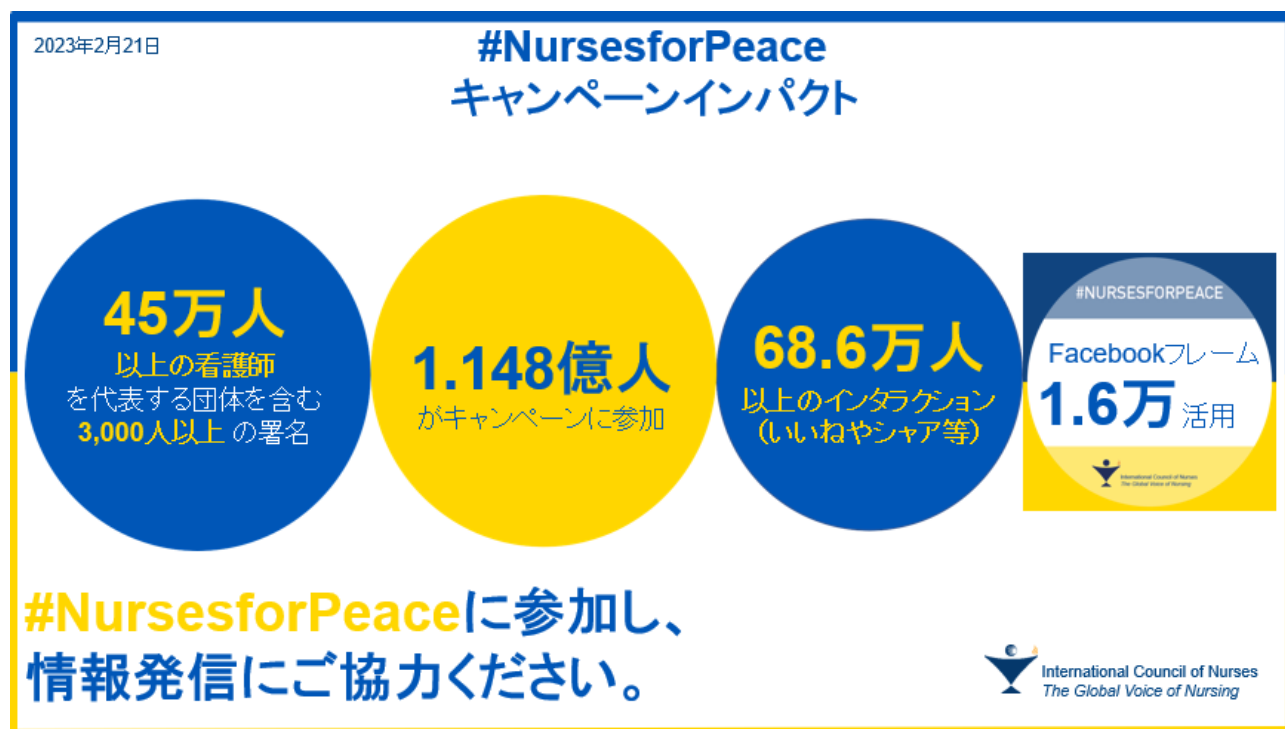
ICN事務局長のハワード・カットン氏は、ウクライナの看護師たちからのメッセージは、彼らが悲惨な状況を強いられているにもかかわらず、彼らの勇気を示していると述べました。

カットン氏は次のように述べています：「これらのメッセージから伝わってくるのは、このようなひどい状況の中で生きるウクライナの看護師たちの不屈の精神と、ICNが送ることができたわずかな支援に対する感謝の気持ちです。私たちの #NursesforPeace キャンペーンと人道基金に寄付して下さった全ての人に感謝します。このように、現場で真の変化をもたらし、看護師がひどい状況に置かれても働き続けることができるように支援しています。彼らが提供する情報によって、私たちは皆、紛争によって一変した彼らの生活を垣間見ることができ、この不必要な戦争によって彼らが強いられている状況に共感することができるのです。私は、看護師が明確に象徴する人間性の名の下に、停戦と敵対行為の即時停止を求める私たちの会長の呼びかけを繰り返します。」

## #NursesforPeace

2022年3月3日に開始されたICNの#NursesforPeaceキャンペーンは、紛争開始以来、世界中の看護師が注目し、ウクライナや周辺国で悪化している人道的状況を支援するために資金を提供しています。

ICNは、一般の看護師や各国看護師協会などからの寛大な寄付に感謝します。食料や医療支援などを含め、看護師のための基本的な必需品の提供に活用されてきました。このキャンペーンは、ソーシャルメディアを通じて、ウクライナの状況を緩和するための看護師の努力に世界中の注目が集まりました。



ICNは、国を追われたウクライナの看護師が、難民として現在住む国で働くことを希望する場合のブリッジングコースにも資金援助をしています。

#NursesforPeaceキャンペーン及びICN人道基金についての詳細は、こちらをご覧ください。

(和訳：日本看護協会)